

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社員研修センター	階数	地上4F
建設地	大阪府吹田市片山町2丁目54-1・18	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2017年3月10日
敷地面積	61,613 m ²	作成者	東畑建築事務所 堤
建築面積	11,311 m ²	確認日	2017年3月31日
延床面積	26,442 m ²	確認者	JR西日本コンサルタンツ 延安



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	企業理念を実践し、自ら考え行動できる社員の育成および人脈形成と心身の健康促進と共に、体系的かつ効果的に学習できる環境整備を行います。	その他 0
Q1 室内環境	中庭を中心とした建物配置と幅広の横連窓の教室は、開放感を確保しながら、外部のルーバーが効果的に日射を遮り、夏場の空調負荷低減やグレアカットにより、快適な教室環境を計画しています。	Q3 室外環境(敷地内) 十分な空地・緑地を確保したゆりのある建物配置が、建物外部空間を潤いのあるものとしています。
LR1 エネルギー	個別空調、LED照明他省エネルギーに資する設備計画としています。	LR3 敷地外環境 建物配置は敷地境界からの離隔距離を十分に保ち、近隣への影響を極力小さなものとなるようにしています。
Q2 サービス性能	様々な研修に対応する教室や実習室を設け、フレキシビリティの高い研修の運用を可能としています。わかりやすい建物構成などにより、社員の誰もが気兼ねなく利用できる施設としています。	
LR2 資源・マテリアル	再利用可能な材料を積極的に使用しています。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0009

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	社員研修センター					
		建設地	吹田市片山町2丁目54-1・18・19・20、133-7、1111-2					
		用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					4		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		3.0				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		4.0				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.7				
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4				
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			4.0	4		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								